

王司小学校児童が干潟でツメタガイ駆除を行いました

山口県漁協王司支店では、木屋川の河口に広がる広大な干潟で、アサリ資源回復のため、様々な取り組みを行っています。

今回、その取り組みの一環として、平成29年6月9日に王司小学校の児童63名と一緒に、アサリの外敵生物であるツメタガイの駆除を実施しました。

王司地区では、40年以上前から、子供たちに海や干潟の豊かさを学んでもらうため、王司小学校の児童に対して「海浜学習」を実施してきたところですが、平成24年からは、干潟の現状をもっと知ってもらうため、年に1回、児童と一緒にアサリの外敵生物であるツメタガイの駆除を行っています。

この日は、13時30分に作業を開始、子供たちは干潟で泥んこになりながら、一生懸命に駆除作業に取り組み、約1時間で砂茶碗と呼ばれるツメタガイの卵塊23kgを駆除することができました。

今後も地元の子供たちと一緒に活動をし、少しでも多くの子供たちに海や干潟の環境に目を向けてもらうことで、アサリ資源の回復につなげていきたいと考えています。



王司小学校の児童63名とツメタガイを駆除



ツメタガイの卵塊を発見！！



2 3 kgもの卵塊を駆除しました。